

第4章 日高市の環境目標

1. 日高市の望ましい環境像

日高市は、高麗川に代表される清流、巾着田や日和田山などの自然景観、高麗神社など文化的資産が広く知られる一方、快適な都市機能も整備され、都市と自然が共生しながら発展してきました。

しかしながら、豊かな自然景観が観光資源として注目されるなか、都市化にともなう新たな環境課題も生じています。貴重な自然環境を保全し、環境に与える負荷を減らし、健康的に暮らすために、市のめざすべき環境像を明らかにし、守り育て、創造していくことをめざす必要があります。

良好な環境づくりに向け、市、市民および事業者の各主体の環境配慮行動が、相乗的な効果を発揮できるよう「協働」し、積極的に環境課題に取り組んでいくことが必要です。

武蔵野の面影残る豊かな自然と、歴史ある文化、そして日高市で生活する人々が、これからも永続的に共生してゆくために、日高市では将来への望ましい環境像を「自然と文化と環境のまち 日高」とし、次世代に向けた環境保全・創造のための行動を展開していくこととします。

■日高市の望ましい環境像



2. 基本目標と取り組みの方針および施策の体系

日高市の望ましい環境像「自然と文化と環境のまち 日高」の実現に向けて、4つの基本目標と8つの取り組み方針、20の環境施策により、環境保全と創造に向けた展開を図ります。以下にその体系を示します。



